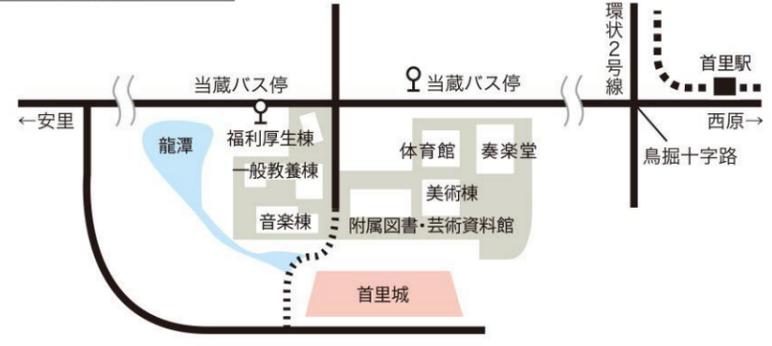


沖縄県立芸術大学大学院

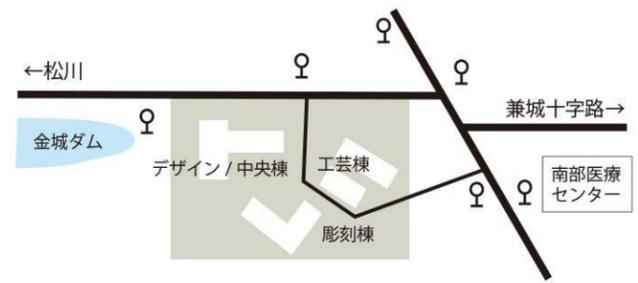
Okinawa Prefectural University of Arts
Graduate School of Formative Arts
[Master's Program]

首里当蔵キャンパス



- 【自動車利用の場合】**
那覇空港（那覇）より9.8km、約45分。
沖縄自動車道・那覇 I.C. から約10分。
- 【モノレール利用の場合】**
那覇空港駅より首里駅まで約35分。
首里駅より徒歩約10分。
- 【バス利用の場合】**
「当蔵」バス停下車、徒歩1分。
- ・那覇バス系統番号
[1] 首里牧志線 / [17] 石嶺（開南）線
[46] 糸満西原線 / [14] 牧志開南循環線
 - ・沖縄バス系統番号
[8] 首里城下町線

首里崎山キャンパス



- 【自動車利用の場合】**
那覇空港（那覇）より9.8km、約45分。
沖縄自動車道・那覇 I.C. から約3分。
- 【モノレール利用の場合】**
那覇空港駅より首里駅まで約35分。
首里駅よりバス乗り換え・タクシー利用で約6分。
- 【バス利用の場合】**
「芸大崎山キャンパス前」バス停下車、徒歩1分。
- ・那覇バス系統番号
[15] 寒川線
 - 「那覇インター前」バス停下車、徒歩5分。
 - ・那覇バス系統番号
[1] 首里牧志線 / [16] 新川首里駅線 / [14] 牧志開南循環線
 - ・沖縄バス系統番号
[18] 首里駅線 / [127] 屋慶名・高速線
 - ・東陽バス系統番号
[91] 城間線（南風原経由） / [191] 城間線（一日橋経由）
 - ・共同運行バス系統番号
[111] 高速バス

沖縄県立芸術大学
OKINAWA PREFECTURAL UNIVERSITY OF ARTS

〒903-0814 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地
TEL : 098-882-5000(代表) FAX : 098-882-5033

ホームページアドレス
<http://www.okigei.ac.jp>
<http://www.okigei.ac.jp/english> (English Ver.)

※ 比較芸術学専修ホームページ
<http://www.okigei.ac.jp/geijutsu/Welcome.html>
<https://sites.google.com/site/opuoageijutsu/english> (English Ver.)

入試情報やオープンキャンパスなどの大学イベントに関する詳細はホームページ等でご確認ください。

本学への問い合わせ・資料請求先
沖縄県立芸術大学事務局教務学生課 電話 (098)882-5080

造形芸術研究科 修士課程



造形芸術研究科 修士課程 専攻案内

工芸専修

Master's Degree in Crafts

工芸専修は、染研究室、織研究室、陶磁器研究室、漆工研究室の4つ研究領域から成ります。

染研究室は、本学附属図書・芸術資料館所蔵の鎌倉芳太郎資料を活用した伝統的紅型技法の調査研究や模造復元を行います。それを基に現代に即応した創作活動、理論的な研究制作を実践します。

織研究室は、沖縄の染織技術やその他の技法を活用した作品制作及び天然染料や素材の調査研究を行います。伝統的な技術の伝承や、創作性への展開も取り組んでいます。

陶磁器研究室は器物、造形制作に分かれ、それぞれの専門領域を研究習得することを目的としています。原材料や釉薬調整などの基礎から、それを応用した成形技法の研究制作を行います。

漆工研究室は、各自の研究テーマを中心に理論も深めながら、高度で実践的な研究を行うと共に、琉球漆芸を含む日本漆芸全体の伝統技法の専門的な研究も更に継続していきます。

The MA in Crafts consists of four fields: dyeing, weaving, ceramics, and urushi lacquering.



デザイン専修

Master's Degree in Design

デザイン専修は、視覚伝達デザイン研究室と生活環境デザイン研究室の2つの研究領域から成ります。

視覚伝達デザイン研究室では、グラフィックデザイン、映像デザイン、空間演出における視覚的な表現などを研究領域とし、研究制作を通してビジュアルコミュニケーションのあり方を追求します。

生活環境デザイン研究室では、公共空間のスペースデザイン、居住空間、家具等のデザインや、地域性を勘案した製品デザイン等の造形を研究領域とし、論理的なデザインプロセスの構築手法から、実践的でより高度な造形表現を追求します。

The MA in Design consists of two areas of specialization: visual communication design and lifestyle & space design.



絵画専修

Master's Degree in Painting

絵画専修は、油画研究室と日本画研究室の2つの研究領域から成ります。学部での教育課程を踏まえ、院では高度な専門性を修練し、修了後、作家としての個の確立と自らの独創性を培い、社会に貢献できる研究能力の育成を目指します。

油画研究室においては、平面・絵画表現のみならず、版表現、インスタレーション、映像、パフォーマンスなどを研究内容とし、これらの複合的な材料・表現技法の研究の機会を提供しています。

日本画研究室においては、伝統的な日本画の材料・表現技法を踏まえ、古典から現代へ展開する動きの中で、高度な修練と表現の確立を目指します。

The MA in Painting comprises oil painting and Japanese painting.



彫刻専修

Master's Degree in Sculpture

彫刻専修は、学部の教育課程において培った教養と彫刻分野の専門的素養の上に立ち、それぞれの領域における学生の研究テーマに基づき、より高度で実践的な研究を行います。その上で、将来にわたって作家などの専門家として自ら主体的に課題を創出し、独創的な表現方法の探究を継続していくための研究能力の育成を目指します。また、今日の多様な表現領域の中で、特殊な材料・造形技法の分野についても高度な内容の充実を図り、それらを積極的に応用していく能力を養います。

The MA in Sculpture is built upon the knowledge of liberal arts and expertise in sculpture acquired in the undergraduate curriculum, and students are expected to conduct more advanced and practical study based on their research themes in each area of specialization.

比較芸術学専修

Master's Degree in Comparative Art Studies

本専修の研究分野は日本・東洋・西洋の美学・芸術学・美術史、さらに民俗学・アジア工芸史・考古学・比較文化学・日本文学・琉球学を含む広範なものです。

現在は、小林純子（日本美術史・沖縄美術史）、金恵信（東洋美術史・アジア近現代美術）、尾形希和子（西洋美術史）、喜屋武盛也（美学）、土屋誠一（近現代美術史・写真論・視覚文化論）、森達也（アジア工芸史・考古学・文化史）、波平八郎（日本文学・文化学）、鈴木耕太（琉球文学・文化学）という教員で、教育と研究に取り組んでいます。

This MA program provides a wide range of research subjects, including Japanese, Oriental and Western aesthetics, art studies, and art history, as well as ethnology, Asian craft history, archeology, comparative culture, Japanese literature, and Ryukyuan literature.

